

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和3(2021)年 6月 30日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県小牧市東三丁目1番地	
氏名 住友理工株式会社	
小牧製作所長 田中 睦	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0568-77-2049 （安全環境課）	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友理工株式会社 小牧製作所
事業場の所在地	愛知県小牧市東三丁目1番地
計画期間	令和3(2021)年 4月 1日 ~ 令和4(2022)年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	19 : ゴム製品製造業
2 事業の規模	290億円/年
3 従業員数	2,653名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料 参照

（日本工業規格 A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

CSR委員会—環境委員会

|

全社環境大会—事務局：環境管理部

|

小牧製作所 所長

|

安全環境課

|

住理工クワイエット ECO

(製作所内廃棄物処理業務)

産業廃棄物管理責任者
特別管理産業廃棄物管理責任者

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度（令和2年度）実績】							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿等	感染性廃棄物	廃酸（有害）	汚泥（有害）
	排出量	46t	24t	22t	0.91t	0.03t	0.006t	0.003t
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>目標値：令和4(2022)年度原単位を平成27(2017)年度実績比の5%削減 活動の進め方：部署ごとに削減テーマアップを行い、削減活動を実施。(不良ロス低減、歩留アップ)</p>								
②計画	【目標】							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿等	感染性廃棄物	廃酸（有害）	汚泥（有害）
	排出量	46t	24t	22t	0.90t	0.03t	0.006t	0.003t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の継続実施 ・強酸、強アルカリ廃棄量削減・・・客先生産終了に伴う削減 								

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油、強酸、強アルカリ、試薬類に大分別実施 少量品は、都度排出。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油で持ち込まれるドラムの成分分析を行い、特管に該当する廃油か 確認する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t

	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
1 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)						
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿等	感染性廃棄物	廃酸（有害）	汚泥（有害）
	全処理委託量	46t	24t	22t	0.91t	0.03t	0.006t	0.003t
	優良認定処理業者への処理委託量	46t	24t	22t	0t	0.03t	0.006t	0.003t
	再生利用業者への処理委託量	46t	24t	22t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	1.6t	0t	21t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.16t	0.1t	0.043t	0t	0t	0.006t	0.003t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、資源循環化を図る。							

(第5面)

②計画	【目標】							
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	強酸	強アルカリ	廃石綿等	感染性廃棄物	廃酸（有害）	汚泥（有害）
	全処理委託量	46t	24t	22t	0.90t	0.03t	0.006t	0.003t

	優良認定処理業者への 処理委託量	46t	24t	22t	0t	0.03 t	0.006 t	0.003 t
	再生利用者への 処理委託量	46t	23t	21t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処理委託量	1.6t	0t	21t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	0.16t	0.1 1t	0.043 t	0t	0t	0.006 t	0.003 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>引継ぎ、資源循環化に主眼をおき、再生利用者への委託推進を図る。</p>							
電子情報処理 組織の 使用に関する 事項	【前年度（令和2年度）実績】							
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニ ル廃棄物を除く。)							93 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>電子マニフェスト導入済み（21年4月）</p>							

※事務処理欄	
--------	--

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が 50 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④ 欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第 6 条の 14 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第 2 条の 4 第 5 号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が 50 トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 8 条の 31 の 4 に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。

添付資料

令和2(2020)年度 特別産業廃棄物処理の工程

住友理工株式会社小牧製作所

分類	廃棄物名称	委託処理	再資源化	備考
引火性廃油	引火性廃油(トルエン)	混合エマルジョン化	エマルジョン'燃料化	燃料
	引火性廃油(試薬類)	焼却	—	
廃酸	強酸(メッキ液)	中和	残渣リサイクル	原料溶融
	強酸(試薬)	焼却	—	
廃アルカリ	強アルカリ(ハクリ液)	中和	残渣リサイクル	原料溶融
	強アルカリ(試薬)	焼却	—	
廃石綿等	廃石綿等	埋立	—	
感染性廃棄物	感染性廃棄物	焼却	—	
有害金属を含む廃酸	廃酸(有害)	焼却	—	
有害金属を含む汚泥	汚泥(有害)	焼却	—	